

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒212-0014  
 住 所 川崎市幸区大宮町1310番  
 氏 名 エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社  
 代表取締役社長 堀 靖 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区千鳥町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	有機酸製品、有機酸系誘導品、キノン系製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	13,986	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

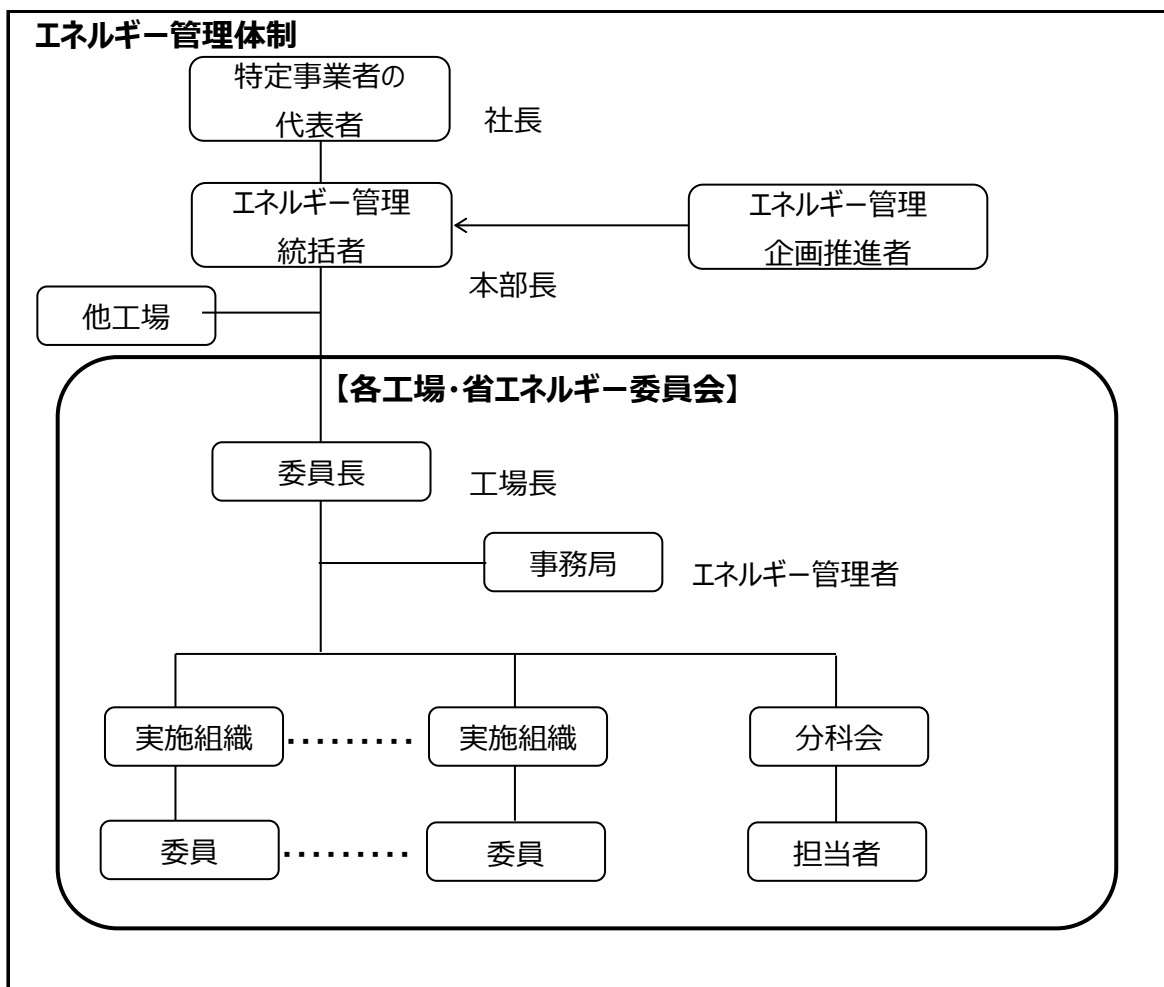
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- ・「エネルギーの効率的使用」「環境負荷の削減」等を全社の環境方針に掲げ生産活動を進める。(ISO14001環境マネジメントシステム準拠)
- ・省エネルギー委員会を組織し、省エネルギー及び温室効果ガスの削減を推進する。
- ・親会社の削減目標である「2030年GHG排出量を2020年度比30%削減」を準拠する。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理(PDCAサイクル)を行うための方針

- 省エネルギー委員会にて下記事項を実施する。
- ・エネルギー使用に係わる年度計画を定める。
  - ・年度計画の進捗状況を管理する。
  - ・エネルギーの使用状況を管理し、省エネ効果・温室効果ガス削減効果を確認する。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 26,838	(実)
		(調) 28,968 t-CO <sub>2</sub>	(調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 26,539	(実)
		(調) t-CO <sub>2</sub>	(調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) 299 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) 402 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) -103 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 1.1 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		換算生産量	
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /t	
基準年度の値		0.2674	
目標年度の値		0.2634	
削減率		1.5 %	

ウ 目標設定に関する説明

3年後は生産量（製品による重み付けした換算生産量）が若干増加見込みであるがCO<sub>2</sub>排出量は299 t 削減の見込み、改善が無い場合は103 t 増加するので、改善によりCO<sub>2</sub>排出量を402 t 削減する計画である。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①電動機器の省エネ 新設・更新時に省エネ機器検討、既設ポンプ等の改善 ②照明設備の省エネ プラント照明のLED化 (計画的に実施中) ③蒸気設備の省エネ 設備改善し蒸気削減、不良トラップの早期交換、保温の修理・改善 ④工程改善・制御改善による省エネ ⑤蒸気の有効活用 ⑥省エネルギー委員会の活動推進 ⑦オフィスにおける省エネ活動の推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気降圧 (1.8→0.5MPa) にタービンを設置しブロワーへの動力補助</li> <li>・蒸気ボイラー・熱媒ボイラーの燃料転換 (都市ガス化)</li> <li>・廃ガス洗浄系散水ポンプの能力見直し・更新による電力削減</li> <li>・川崎スチームネット (KSN) の低CO2蒸気受入れ</li> <li>・蒸気トラップ全数診断実施 (2100台) による早期交換・整備で蒸気ロス削減 (毎年実施中)</li> <li>・プラント照明のLED化 (2013年から計画的に実施中)</li> <li>・ポンプ等電動機器更新時は適正能力化を図り電力削減 (継続中)</li> <li>・ポンプ等の改善 (インバータ設置、インペラカット等) による電力削減 (継続中)</li> </ul>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	検討を実施したがコストが高く採用には至らなかった。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	○	蒸気降圧にタービンを導入することで電動機への動力補助を検討したが、該当する能力のタービンはほとんど製作されておらずコストが高く採用には至らなかった。
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

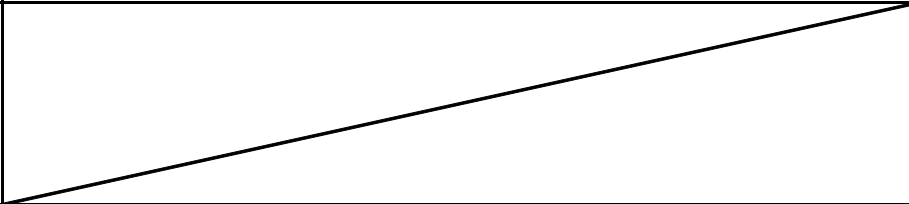
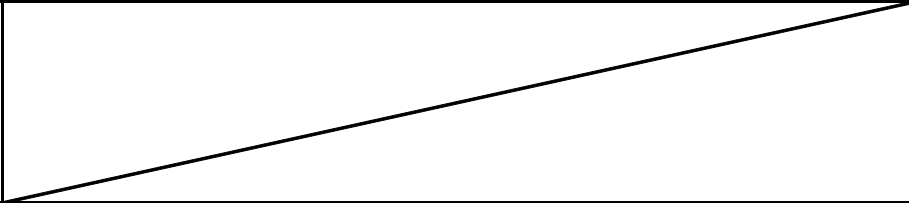
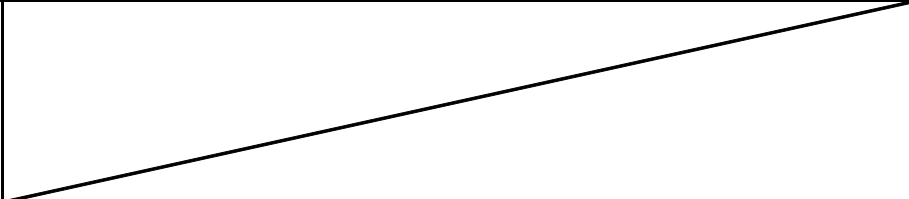
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

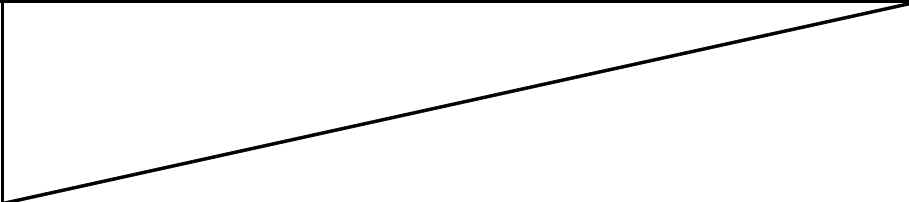
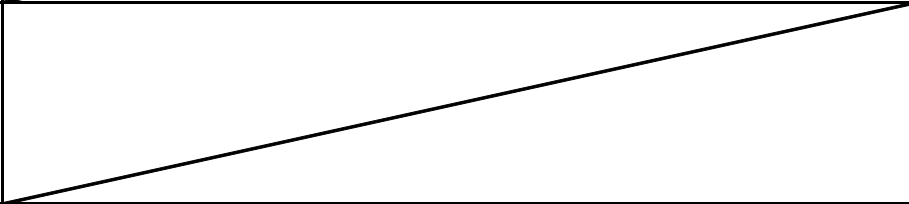
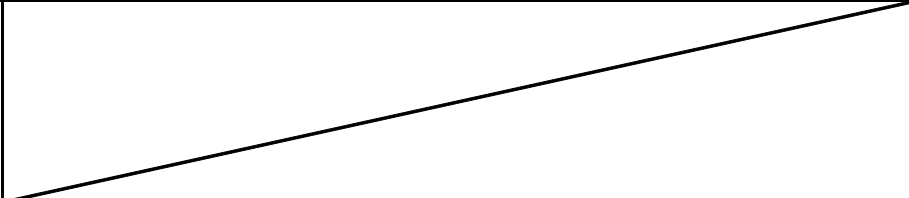
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特に無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	特に無し
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	26,838	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

13,986	K L
--------	-----

ウ 事業所の数

3
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
川崎工場 (千鳥)	川崎市川崎区千鳥町1番2号	26,796 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>